



直近の豪州経済の動向について

ポイント

◆ 中国経済がスローダウンしてしまうと豪州経済も鈍化してしまうのでしょうか？

次の3点から、豪州経済は底堅く推移すると考えています。1)これまでの豪ドル安により交易条件が改善し、輸出が増加する可能性が出てきていること、2)8月の利下げにより、内需関連部門の回復が期待できること、3)9月7日に新首相の下、総選挙が実施され、新たな景気対策が期待できること、です。

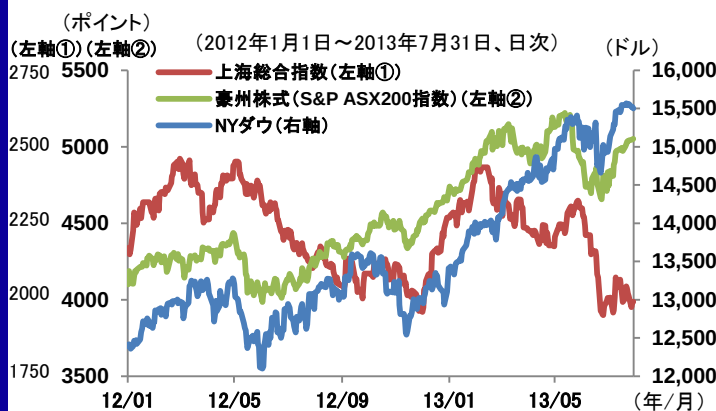
●オーストラリア準備銀行(RBA:中央銀行)は8月6日の金融政策決定会合において、政策金利を0.25%引き下げ、年率2.5%にしました。声明文の中に、「利下げは、持続的な景気回復を下支えするだろう」とあります。6月の小売売上高(前年比)は、+1.1%と前月比-1.2%、6月の住宅建設許可件数(前年比)は-13%と前月に引き続きマイナスになり、内需部門はスローダウンしています。(図表①)

●また、声明文の中に、「鉱業の設備投資が鈍化しています」とあります。2013年第1四半期の設備投資額(鉱業)は、227億豪ドルで前期比14億豪ドルの減少となりました。一方、6月の中国向け鉄鉱石輸出は3,649万トンと3月末比220万トン増加と回復しています。中国向けの鉄鉱石輸出が増加していることから、鉱業の設備投資は再び回復してくるものと考えています。(図表②)

●年初から中国株式は下落しました。豪州の輸出先で中国向けは30.2%(6月豪貿易収支より)を占めています。(図表④)そのため、豪州株式は、中国株式に連動して下落していますが、実際は、米国株式に連動する形で、底堅い推移をしています。(図表③)

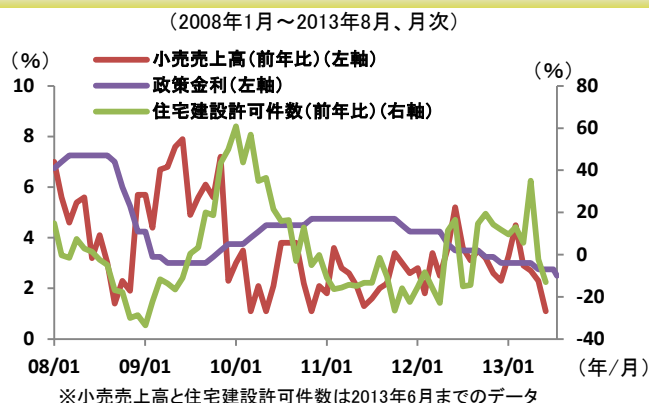
●これまでの豪ドル安により交易条件が改善し、輸出の増加が期待できることや利下げによる内需関連部門の回復が経済成長をけん引することが期待できます。また、9月7日に新首相のラッド首相の下、総選挙が実施されます。豪州は、現在ソブリン格付けで最高の「AAA」(図表④)にあり、今後も良好なファンダメンタルズは維持されていくものと考えています。

【図表③:豪州株式と米国株式、中国株式の推移】

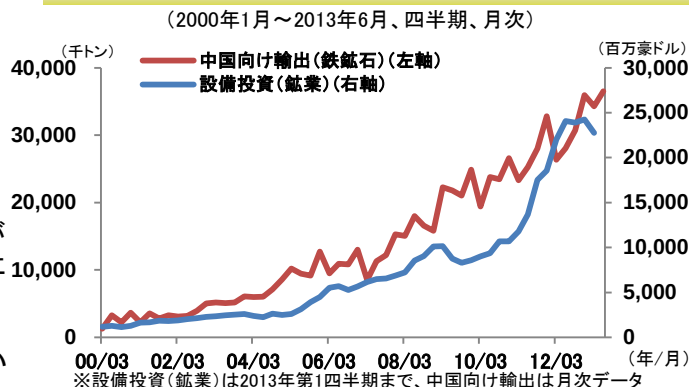


出所:ブルームバーグ、豪州統計局のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

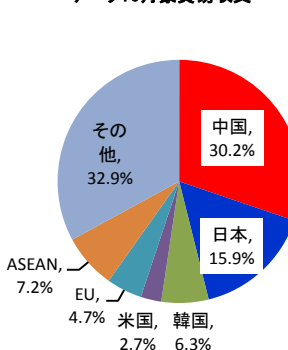
【図表①:豪州の内需と政策金利】



【図表②:鉄鉱石の中国向け輸出と鉱業の設備投資】



【図表④:豪州の貿易相手国と主要国のソブリン格付け】

(豪州の貿易相手国)
データ:6月豪貿易収支(主要国のソブリン格付け)
データ:S&P社

S&P社格付け	主要国の格付け(外貨建て、長期)
AAA	豪州、英国、ドイツ、カナダ、ノルウェー、オランダ、デンマーク、スウェーデン、フィンランド、スイス、シンガポール、香港
AA+	米国、フランス、オーストラリア
AA	ニュージーランド、ベルギー
AA-	日本、中国、台湾
A+	韓国
A	
A-	ポーランド、マレーシア
BBB+	アイルランド、タイ
BBB	イタリア、ロシア、ブラジル、メキシコ
BBB-	スペイン、インド、アイスランド
BB+	トルコ、インドネシア
BB	ボリビア
BB-	ベトナム

(2013年7月末時点)